



ウサギののぼりざかのように

校長 藤森克彦

新年、明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。三が日は晴天にも恵まれ、今年一年が穏やかな年になることを願っているかのようにでした。

さて、今年は卯年にあたりますが、ウサギといえば足の速いウサギと足の遅いカメが競走をし、最終的にはカメが勝利するという「ウサギとカメ」の話の思い浮かべます。この話はイソップ寓話にも所収されていて、日本には室町時代後期以降に入ってきたと言われていています。そのあと明治時代の国語の教科書に「油断大敵」というタイトルで掲載され、一般に知られるようになったそうです。ウサギは小さくモフモフしていて、犬や猫ほどではないにしろ近年ペット率上昇中の動物ですが、ウサギにまつわることわざの中には、欲を出してうまくやろうとすると結局は失敗するたとえの「二兎追う者は一兎をも得ず」をはじめ、油断をして思わぬ失敗をする「兎の昼寝」や、弱点を突かれて耳が痛いという「兎の逆立ち」など、人間の生々しい負の部分を表す場面に使われています。古事記の中に「因幡の白兎」として登場してくるぐらいですから、愛らしくて大事にされているペットというよりは、むしろ日本中どこにでもいる馴染み深い動物だといえます。

さて私ごとですが、この年末に家族で伊豆方面に旅行をし、誰もが訪れそうな観光地を行ったり旅館でのんびりしたりしてきました。この時期は親子連れの観光客も多いということもあって、小学生ぐらいの子どもがいると職業柄か何となく見てしまう癖があるようです。山の上の展望のよいところでしたが、そこに別の家族連れがいました。お父さんが中学生と小学生ぐらいの兄弟に、「あれが富士山で、あそこは伊豆大島だな」「あっちに見える島はどこだ」「父島か」「さすがにここからは見えないから三宅島だな」とか、スマホにある地図アプリを眺めながら親子の「島談議」に花を咲かせていました。お父さんが指していた山は間違いなく富士山でしたが、遠くに見えている島影が果たして何島なのか、正解は分からなかったようです。何気ない家族のやり取りですが、これを教育学的に言えば、子どもたちが初めての景色に興味を抱き、視覚的情報と社会科の既習内容を関連させ、さらに地図による資料を活用しながら分析力、推論力を生かして自分たちなりの正解を求めていく協働的な学びということになります。そんな複雑で難しいことはともかく、今まで見たこと、聞いたこと、読んだこと、教えてもらったことなど、様々な経験や働きかけを通じて会話する機会というのは、正解はなんであれ子どもにとって大切な経験であり、その経験は家族が大きな役割を担っているといえます。

最近読んだ教育書の中に、心理学用語で「スキーマ」と呼ばれている認知の仕方が紹介されていました。例えば「それは夜になって空に浮かび、白銀の光で世界を照らし続けた後、夜明けとともに去っていった」という話を聞けば、「月」のことだということが分かります。物事に関する知識がいくつか集まってくると、それに共通したものを抽出して一般的な知識や考え方をとらえることができるという一種の応用力です。一問一答のような細切れの知識をできるだけ多く何の脈絡もなく詰め込むだけではなく、学んだ知識や技能を活用して自分たちなりに答えを出したり実際にやってみたりする機会や経験がとても大事だと改めて思いました。

そのためにも、問題解決学習や問題解決的な活動を通した多様な経験をはじめ、未知の事柄にも推し量りながら論及していく協働的な学び、自発的な読書や遊びなど、「子どもに任せたら子どもたちがやっていくこと」を意識した教育活動をこれからも進めてまいります。

持ち前の力を存分に発揮し推し進む意の「兎の登り坂」のように、今年も子どもたちのさらなる活躍を期待したいです。

「仕事ってなに？働くってどういうこと？～ドリームジョブ～」

5年松組 上埜 和也

12月3日の学校公開では、14名の様々な職業に従事する方々にジョブマイスターとしてご来校いただき、お話をさせていただきました。

社会科の授業で食料生産や工業生産について学び、少しずつ社会のしくみについて知り始めている子どもたちですが、世の中にある職業に関する知識はまだまだ多くありません。

今回ご協力いただいた方々のご職業は、食品メーカーから外資系IT企業、映画監督、ジャーナリスト、フードコーディネーター、国家公務員などまさに多様で、子どもたちの「社会の見方」を広げるために非常に貴重な機会となりました。自らのキャリアを考えようとするとき、情報が多いことも重要ですが、その仕事に従事する方々の「生の声」はその多さにも勝る価値があります。

お話では業務内容はもちろん、その仕事でこそ感じられるやりがいや必要なスキル、外からは分かりづらい苦労などに触れていただきました。児童は、興味のある職業といった自分軸の考え方から、他者への貢献という視点へと広げることができました。

引き続き、自分のやりたいこと、得意なことや苦手なこと、さらには「どんなふう生きていきたいのか」を考えながら、将来の自分を想像させていきたいと思います。



様々な職種の方にお話しいただきました。
子供たちも興味をもって聞いていました。



「新しいフレンドまつりを目指して」

6年月組 小林 雄大

12月16日(金)にフレンドまつりが行われました。それぞれのフレンド班で5・6年生を中心にどのようなお店にするかを話し合い、準備を進めてきました。今年はSDGsをテーマに、各班が工夫を凝らしました。また、タブレット端末が一人一台配布されたことを受けて、ポスターやお店の出し物にも積極的に活用しました。

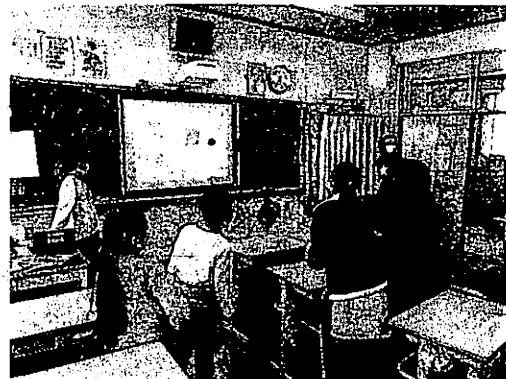
1～4年生は、お店を回る客の役でしたが、4年生は下級生のお世話をしながらリーダーとして活躍しました。お店を回る順番を決める際には、タブレット端末にダウンロードした各班のデジタルポスターを囲んで眺めながら、下級生の意見を聞き、4年生が上手にまとめて決めることができました。

高学年が作る様々なお店にはスクリーンとプロジェクターを活用したデジタルストラックアウトやプログラミングの技術を活用したお店など、多くの革新がありました。今年はICTを積極的に取り入れ、お店の内容も大きく変化しました。これからの時代に向けて、様々なアイデアやひらめきが生まれた、素晴らしいまつりとなりました。次年度は、今年をベースにさらに発展させ、ワクワクするようなアイデアがもっともっと生み出されるのではないかと楽しみです。

<ホワイトボードを活用したクイズ>



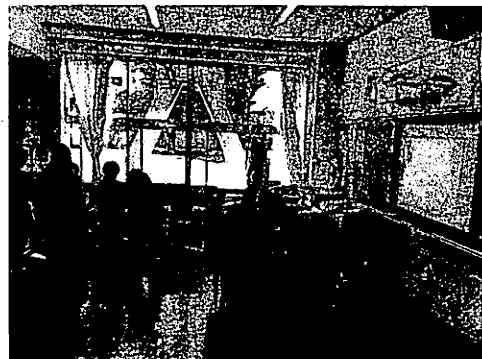
<デジタルストラックアウト>

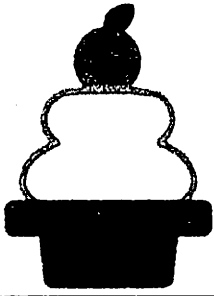


<プログラミングを活用したタブレットゲーム>



<プロジェクターに映して説明>





年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて

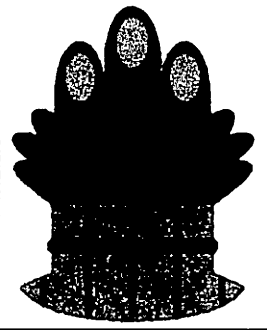
最後まで聞く

保健のめあて

うがいと手洗いをしよう

給食のめあて

好き嫌いしないで食べましょう



1月の行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	日	元日	17	火	放送朝会 計測(4年) 保護者会(1・3・5年) 2年生6時間授業始
2	月		18	水	計測(3年)
3	火		19	木	計測(2年) 保育園との交流会(1年) 保護者会(2・4年)
4	水		20	金	児童集会 計測(1年) クラブ
5	木		21	土	学校公開・市民科授業地区公開講座 書き初め展(終)
6	金		22	日	
7	土	冬季休業日(終)	23	月	
8	日		24	火	放送朝会 午前授業 校内研究(2松・6梅)
9	月	成人の日	25	水	
10	火	始業式 午前授業 給食なし	26	木	
11	水	給食始 午前授業 安全指導	27	金	音楽朝会
12	木	計測(6年)	28	土	
13	金	委員会 計測(5年)	29	日	
14	土		30	月	TOKYO GLOBAL GATEWAY(4年)
15	日		31	火	放送朝会
16	月	避難訓練 起震車体験(4年) 校内書き初め展(始) すくすくスクール(始)	1月21日(土) 市民科授業地区公開講座※授業公開のみ 2校時: 1・3・5年 3校時: 2・4・6年生		

生活指導部より 寒い季節こそ活発な空気を

生活指導部 高橋 璃子

1月や2月になると冬も本格的な寒さとなり、つい暖かい部屋にこもってしまったり、身体を動かすことが億劫になってしまったりします。しかしここは「子供は風の子」の言葉を胸に、積極的に身体を動かすことを心掛けてもらいたいです。

3学期は短縄跳びの練習が始まります。去年より更に上達できるよう、保護者の皆様もぜひ、練習に取り組むお子さんを励ましてあげてください。身体を動かすことによって気持ちをリフレッシュさせるとともに、風邪の予防にもつながります。丈夫な体づくりをして、風邪や感染症から守っていきたいですね。

私たち教員もお子さんたちに負けない元気で、3学期もお迎えしたいと思います。

リレーコラム「かかわる、創る」

1年担任 金谷 美寿々

1月19日に滝王子保育園と緑の家保育園の園児たちを招いて、秋のおもちゃ祭りを開きます。保育園の子たちに楽しんでもらえるように、おもちゃを作っている最中です。

小学校に入ってから1番下の学年なので、お兄さんやお姉さんにお世話をしてもらった場面が多かったのですが、今回は自分たちが年上の立場になることで張り切っている子どもたち。「どんなおもちゃなら楽しんでくれるかな」「簡単なものの方が分かりやすいよね」とグループ内で話し合っていて、どんぐり迷路やまつぼっくりけん玉など様々なおもちゃのお店を設定しました。

春には2年生になります。下級生の手本となるための準備の段階です。小さな子たちと関わって、ちょっぴりお兄さんお姉さんの表情を見ることができると嬉しいです。